

2024年3月期第2四半期 決算説明会

2023年11月24日



株式会社ユアテック

(東証プライム市場：1934)

01	2024年3月期第2四半期 決算概要	—————	P. 2 – 14
02	業績・配当金の予想および推移	—————	P. 15 – 23
03	中期経営計画の進捗状況	—————	P. 24 – 37
04	ご参考	—————	P. 38 – 42

01 2024年3月期第2四半期 決算概要

建設市場の動向

- 公共投資は堅調に推移、
民間設備投資は企業収益の改善基調を背景に持ち直しの動き
- 人件費・資材費の高騰に伴う建設コストの上昇
- 東北各地で大型風力発電所の建設計画が進むとともに競争も激化

電力市場の動向

- カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギーの導入拡大に伴う基幹送電網の増強・整備工事が本格化
- 電力の安定供給およびレジリエンス強化に向けた送配電設備の計画的な更新工事などが底堅く推移
- 親会社である東北電力株式会社は、電気料金の見直しや燃料価格の低下に伴う燃料費調整制度のタイムラグ影響などにより大幅に収支改善

(2) 決算ハイライト[連結]

- 売上高は、屋内配線工事や空調管工事、配電線工事が増加したことなどにより**増収**
- 利益面は、屋内配線工事において比較的利益率の高い物件の完成が上期に多くみられたことなどにより各利益とも**増益**

(単位：百万円)	2023年3月期 2Q（累計）		2024年3月期 2Q（累計）		前年同期比	
	金 額	利益率	金 額	利益率	増減額	増減率
売上高	100,208	—	105,807	—	+5,599	+5.6%
売上総利益	10,849	10.8%	11,870	11.2%	+1,021	+9.4%
営業利益	834	0.8%	1,725	1.6%	+891	+106.8%
経常利益	1,837	1.8%	2,892	2.7%	+1,055	+57.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	864	0.9%	1,720	1.6%	+856	+99.1%

(3) 売上高の増減要因[連結]

■ 屋内配線工事や空調管工事、配電線工事が増加したことなどにより売上高が**増加**

連結売上高 前年同期比の増減内訳

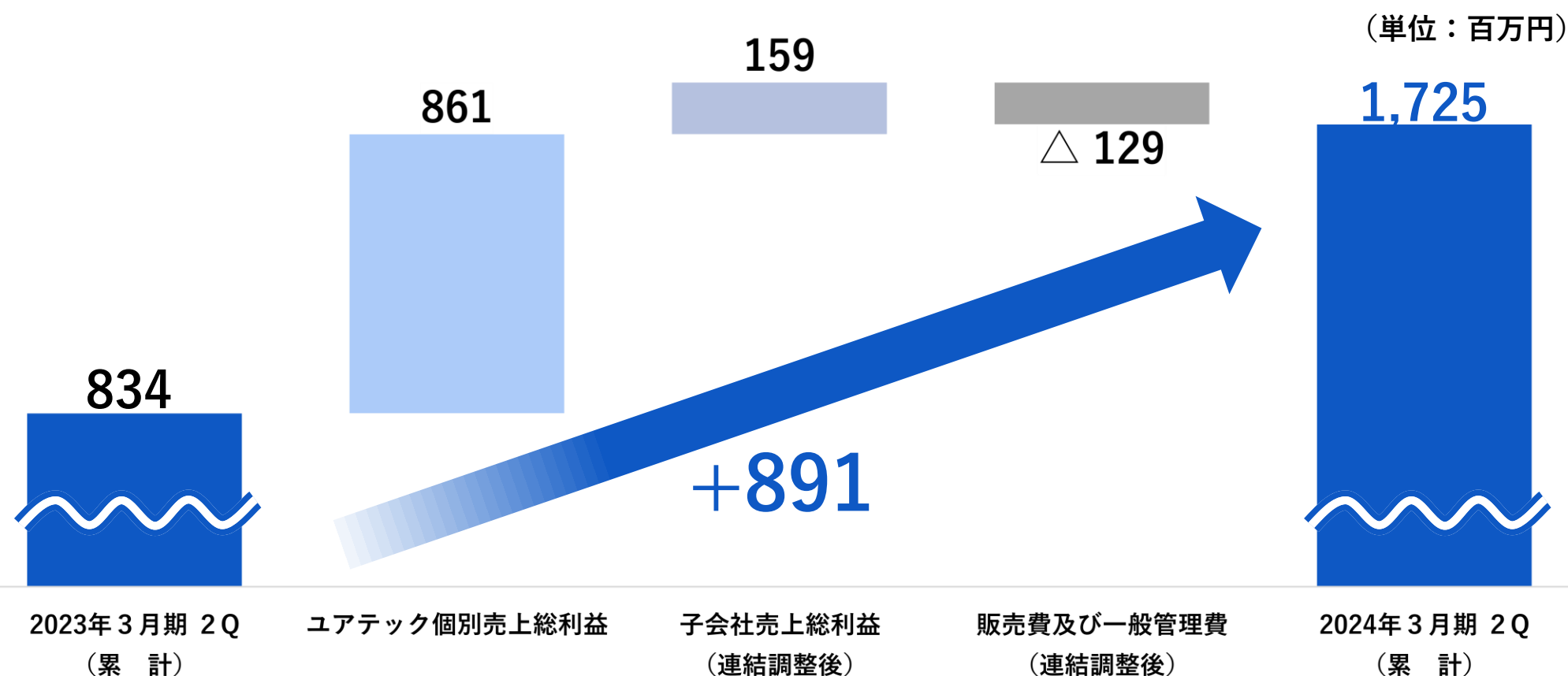
(単位：百万円)



(4) 営業利益の増減要因[連結]

- ユアテック個別売上高の増加に伴い売上総利益が**増加**
- 人的投資に係る費用、DX推進に伴う費用が増加したことなどにより販売費及び一般管理費が増加

連結営業利益 前年同期比の増減内訳



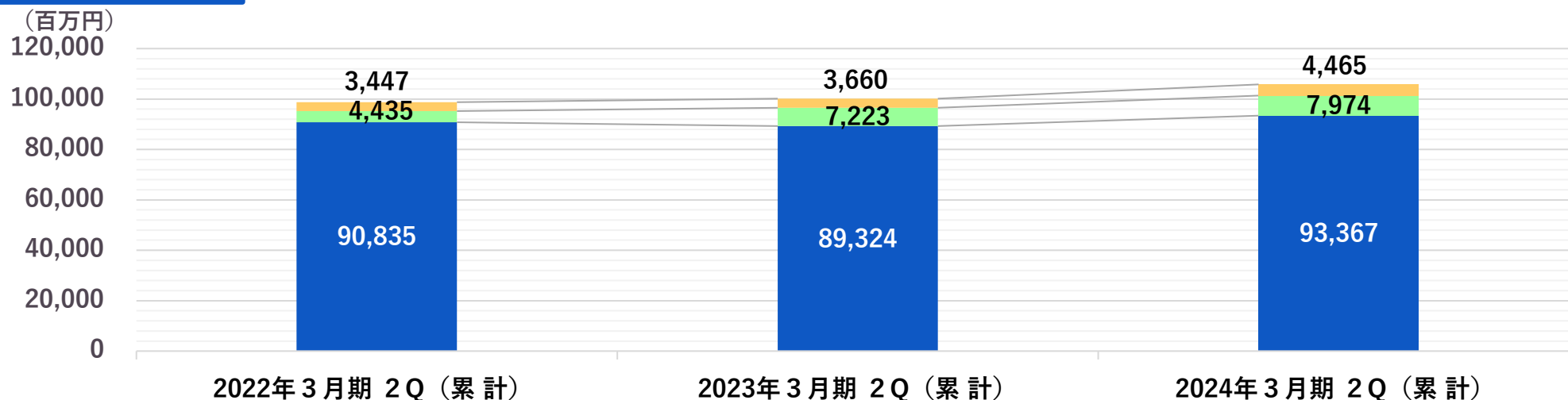
(5) 地域別売上高の推移[連結]

■ すべての地域で前年同期を上回る実績

- ⇒ 「東北地方および新潟県」は、大型工場・病院などの受注が好調、工事の順調な進捗
- ⇒ 「関東圏 他」は、大型商業施設・流通施設などの受注が好調、工事の順調な進捗
- ⇒ 「海外」は、ベトナム事業において、複合ビルなどの大型工事が順調に進捗

売上高

■ 東北地方および新潟県 ■ 関東圏 他 ■ 海 外



(単位：百万円)	2022年 3月期 2Q	2023年 3月期 2Q	2024年 3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
東北地方および新潟県	90,835	89,324	93,367	+4,043	+4.5%
関東圏 他	4,435	7,223	7,974	+751	+10.4%
海 外	3,447	3,660	4,465	+804	+22.0%
計	98,719	100,208	105,807	+5,599	+5.6%

(注) 関東圏 他：＝東京本部、北海道・大阪支社、ユアテック関東サービスの売上高合計（「東北地方および新潟県」を除く国内）

海 外：＝当社施工、YURTEC VIETNAM CO.,LTD.、SIGMA ENGINEERING JSCの売上高合計

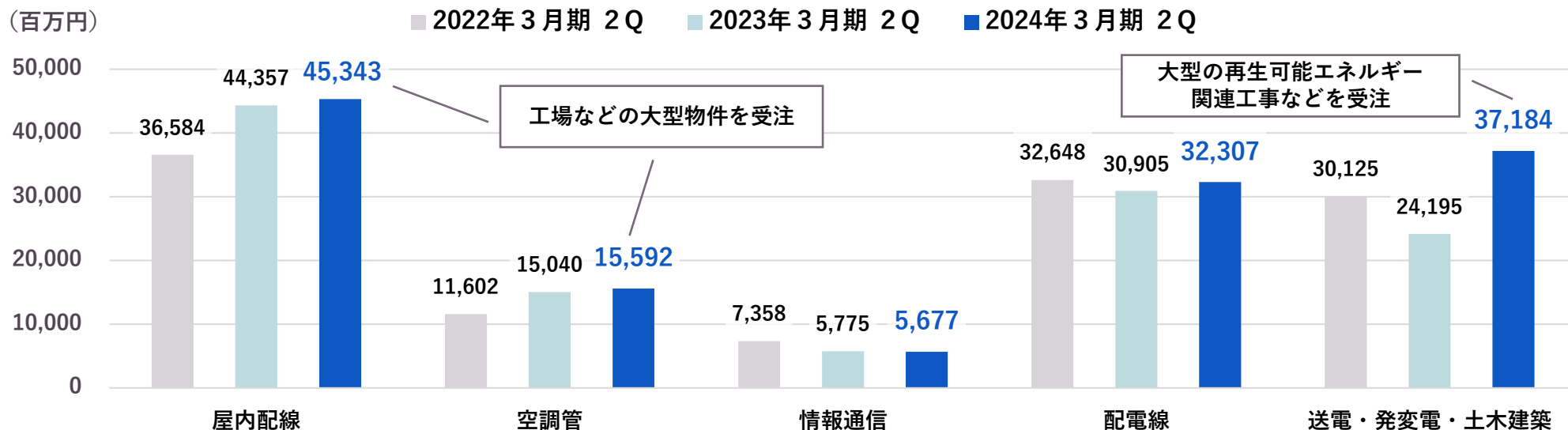
(6) 決算ハイライト[個別]

- 売上高は、屋内配線工事や空調管工事、配電線工事が増加したことなどにより**増収**
- 利益面は、屋内配線工事において比較的利益率の高い物件の完成が上期に多くみられたことなどにより各利益とも**増益**
- 手持工事高は、**高水準**

(単位：百万円)	2023年3月期 2Q (累計)		2024年3月期 2Q (累計)		前年同期比	
	金 額	利益率	金 額	利益率	増減額	増減率
受注工事高	120,275	—	136,106	—	+15,830	+13.2%
売上高	92,720	—	97,628	—	+4,907	+5.3%
営業利益	938	1.0%	1,633	1.7%	+694	+74.0%
経常利益	2,199	2.4%	2,936	3.0%	+736	+33.5%
四半期純利益	1,444	1.6%	1,962	2.0%	+518	+35.9%
手持工事高	149,795	—	172,843	—	+23,048	+15.4%

(7) 工事別受注工事高の推移[個別]

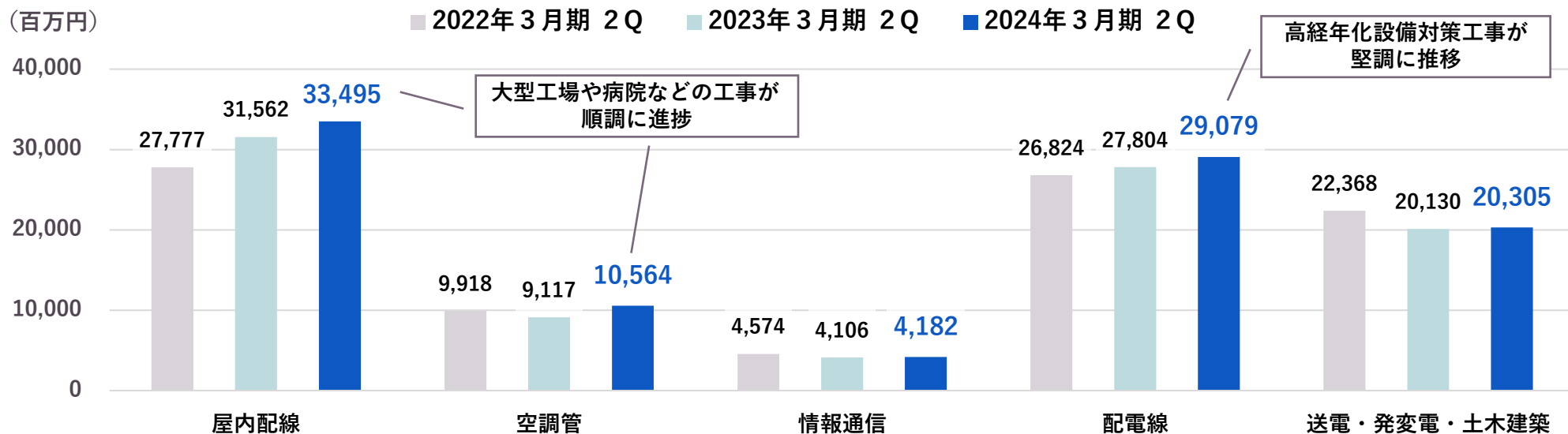
受注工事高



(単位：百万円)	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
屋内配線	36,584	44,357	45,343	+986	+2.2%
空調管	11,602	15,040	15,592	+552	+3.7%
情報通信	7,358	5,775	5,677	△98	△1.7%
配電線	32,648	30,905	32,307	+1,402	+4.5%
送電	10,700	9,164	9,750	+585	+6.4%
発電	7,748	7,117	10,965	+3,847	+54.1%
土木建築	11,676	7,913	16,469	+8,555	+108.1%
計	118,319	120,275	136,106	+15,830	+13.2%

(8) 工事別売上高の推移[個別]

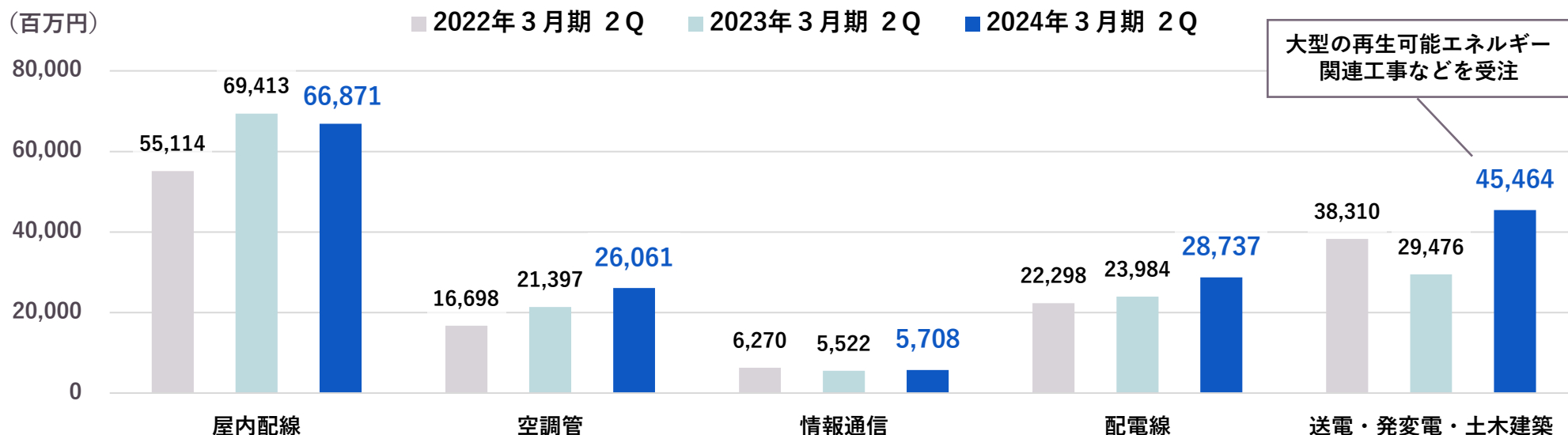
売上高



(単位：百万円)	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
屋内配線	27,777	31,562	33,495	+1,933	+6.1%
空調管	9,918	9,117	10,564	+1,447	+15.9%
情報通信	4,574	4,106	4,182	+76	+1.9%
配電線	26,824	27,804	29,079	+1,275	+4.6%
送電	6,857	6,924	7,786	+862	+12.5%
発電機	6,794	5,439	5,717	+277	+5.1%
土木建築	8,716	7,766	6,801	△964	△12.4%
計	91,464	92,720	97,628	+4,907	+5.3%

(9) 工事別手持工事高の推移[個別]

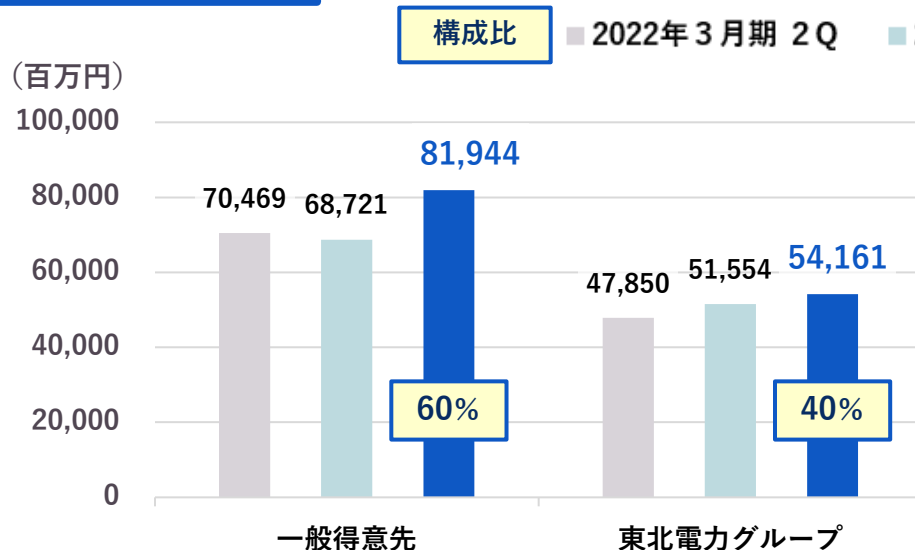
手持工事高



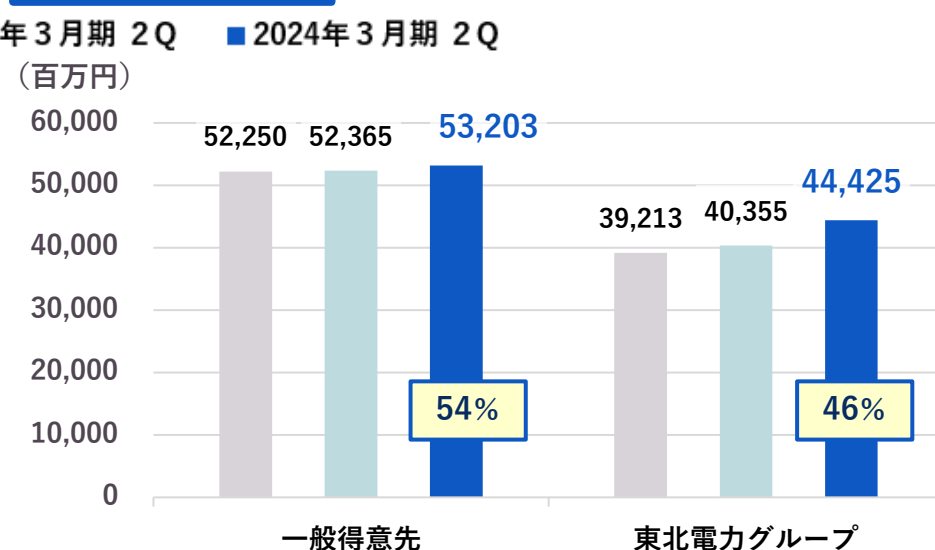
(単位：百万円)	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
屋内配線	55,114	69,413	66,871	△2,542	△3.7%
空調管	16,698	21,397	26,061	+4,663	+21.8%
情報通信	6,270	5,522	5,708	+186	+3.4%
配電線	22,298	23,984	28,737	+4,753	+19.8%
送 電	10,001	8,490	11,355	+2,864	+33.7%
発電電	12,585	12,161	17,355	+5,193	+42.7%
土木建築	15,723	8,823	16,752	+7,929	+89.9%
計	138,691	149,795	172,843	+23,048	+15.4%

(10) 得意先別受注工事高・売上高の推移[個別]

受注工事高



売上高



【受注工事高】 (単位：百万円)	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
一般得意先	70,469	68,721	81,944	+13,223	+19.2%
東北電力グループ	47,850	51,554	54,161	+2,607	+5.1%
計	118,319	120,275	136,106	+15,830	+13.2%

【売上高】 (単位：百万円)	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
一般得意先	52,250	52,365	53,203	+838	+1.6%
東北電力グループ	39,213	40,355	44,425	+4,069	+10.1%
計	91,464	92,720	97,628	+4,907	+5.3%

(11) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2023年 3 月期	2024年 3 月期 2 Q	増減額
資産の部			
流動資産	144,679	138,163	△6,515
現金預金	35,979	29,581	△6,397
受取手形・完成工事未収入金等	77,778	69,549	△8,229
電子記録債権	11,048	8,154	△2,893
未成工事支出金	1,070	2,837	+1,766
その他	19,112	28,359	+9,247
貸倒引当金	△310	△318	△8
固定資産	76,721	78,397	+1,675
有形固定資産	46,605	47,981	+1,375
のれん	3,707	3,716	+8
その他無形固定資産	3,342	3,309	△32
投資その他の資産	23,301	23,622	+320
貸倒引当金	△236	△232	+3
資産合計	221,400	216,561	△4,839

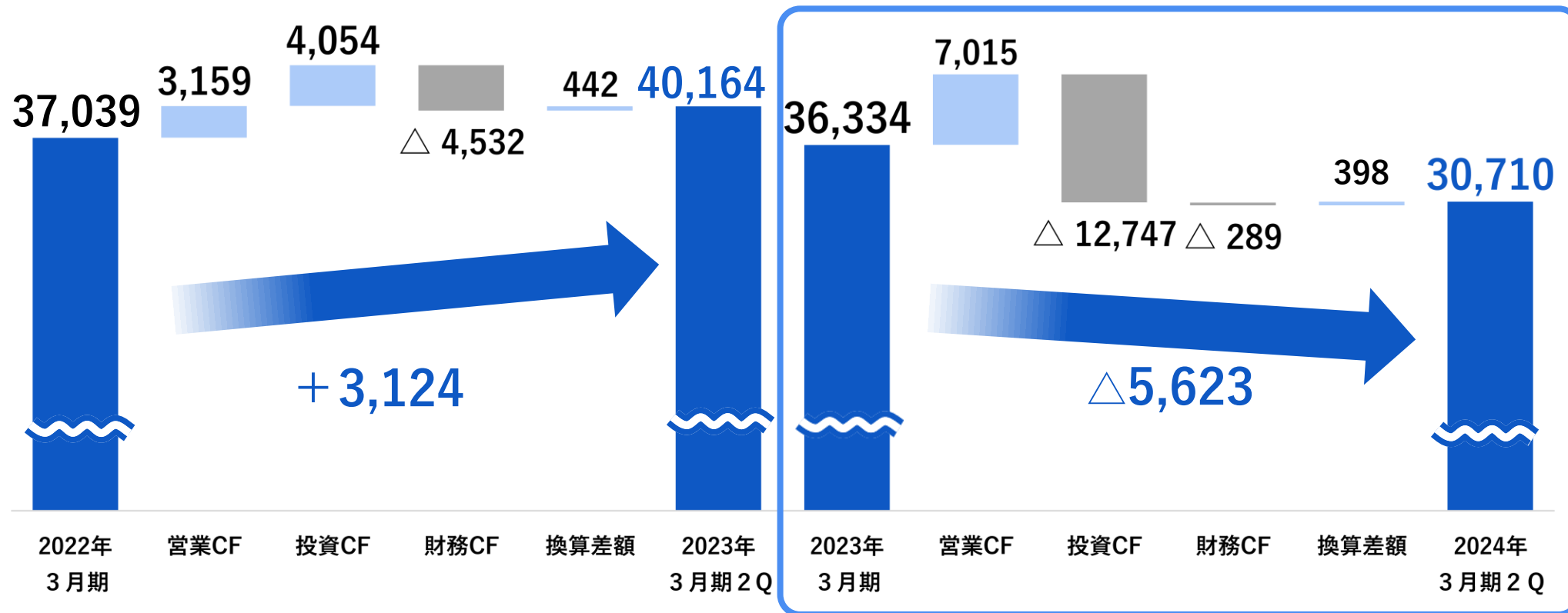
科 目	2023年 3 月期	2024年 3 月期 2 Q	増減額
負債の部			
流動負債	63,976	57,981	△5,995
支払手形・工事未払金等	34,702	29,228	△5,474
電子記録債務	12,129	15,243	+3,113
短期借入金	3,728	4,413	+685
工事損失引当金	156	120	△35
役員賞与引当金	92	—	△92
災害損失引当金	18	18	-
その他	13,148	8,956	△4,192
固定負債	22,936	22,641	△295
純資産の部			
資本金	7,803	7,803	-
資本剰余金	7,864	7,885	+20
利益剰余金	118,713	119,431	+718
自己株式	△333	△299	+34
その他有価証券評価差額金	230	460	+229
土地再評価差額金	△2,186	△2,187	△0
為替換算調整勘定	838	1,434	+596
退職給付に係る調整累計額	1,502	1,351	△151
非支配株主持分	55	58	+2
負債純資産合計	221,400	216,561	△4,839

(12) 連結キャッシュ・フロー計算書

- 営業CFは、売上債権の減少による収入などにより、7,015百万円の資金が増加
- 投資CFは、グループファイナンスへの預け金の預入などにより、12,747百万円の資金が減少
- 財務CFは、配当金の支払などにより、289百万円の資金が減少

現金及び現金同等物 四半期末残高の推移

(単位：百万円)



02 業績・配当金の予想および推移

(1) 2024年3月期 通期業績予想

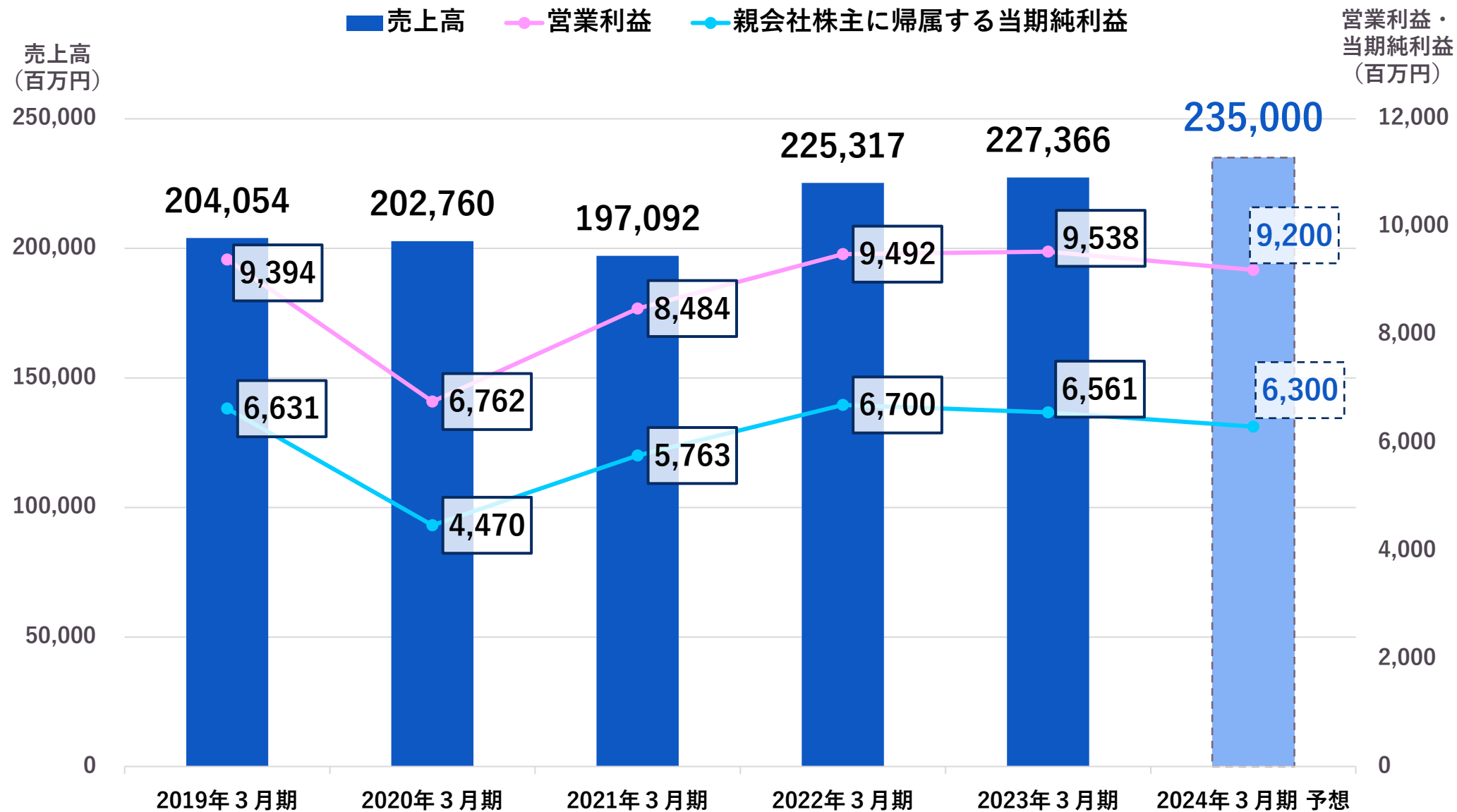
■ 売上高は、中期経営計画に基づく諸施策に鋭意取り組み**増収**を目指す

■ 利益面は、人的投資に係る費用、DX推進に伴う費用等を見込み**減益**予想

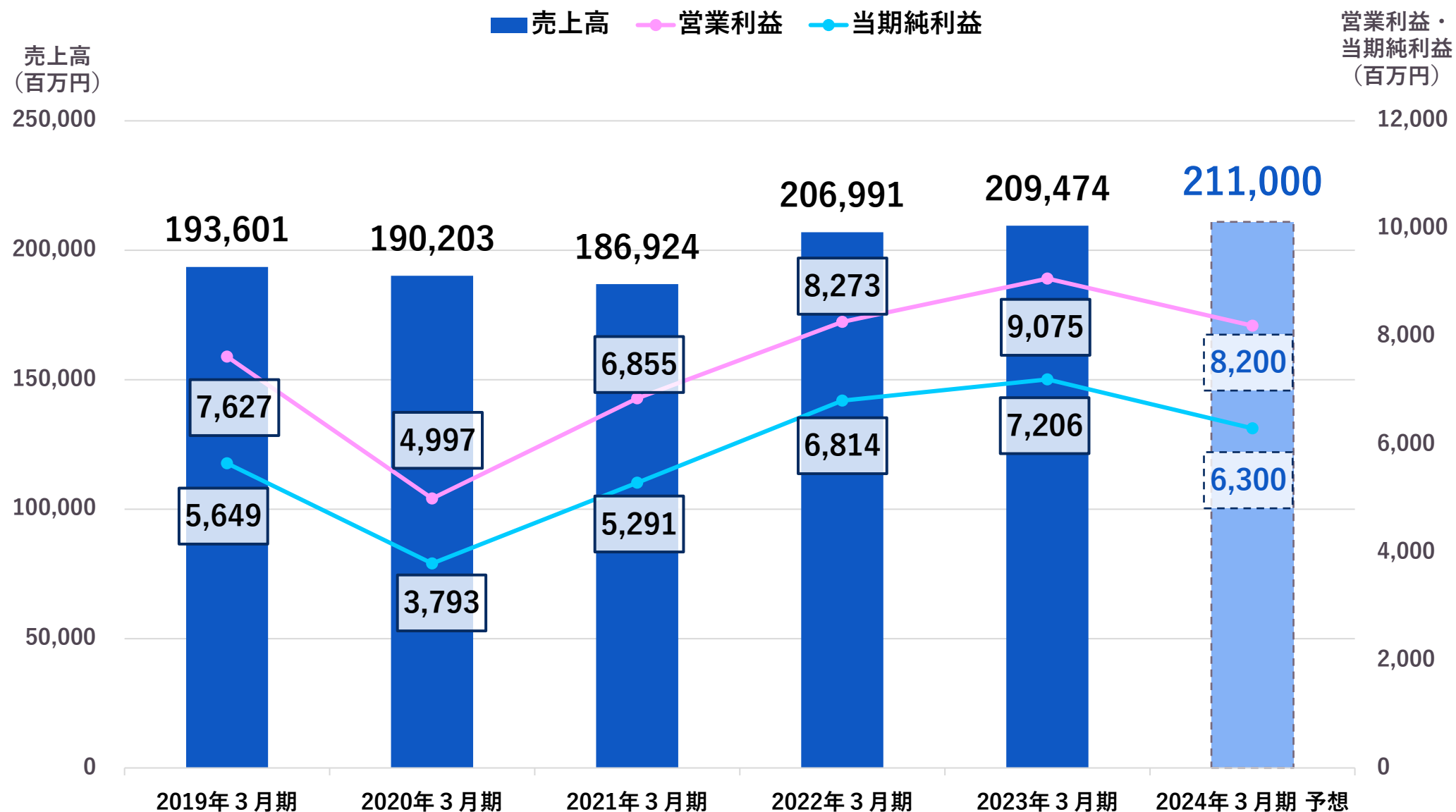
連 結 (単位：百万円)	2023年3月期 実績		2024年3月期 予想		前期比	
	金 額	利益率	金 額	利益率	増減額	増減率
売上高	227,366	—	235,000	—	+7,633	+3.4%
営業利益	9,538	4.2%	9,200	3.9%	△338	△3.5%
経常利益	10,501	4.6%	9,600	4.1%	△901	△8.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,561	2.9%	6,300	2.7%	△261	△4.0%

個 別 (単位：百万円)	2023年3月期 実績		2024年3月期 予想		前期比	
	金 額	利益率	金 額	利益率	増減額	増減率
受注工事高	221,599	—	219,000	—	△2,599	△1.2%
売上高	209,474	—	211,000	—	+1,525	+0.7%
営業利益	9,075	4.3%	8,200	3.9%	△875	△9.7%
経常利益	10,477	5.0%	9,200	4.4%	△1,277	△12.2%
当期純利益	7,206	3.4%	6,300	3.0%	△906	△12.6%

(2) 業績の推移および予想[連結]

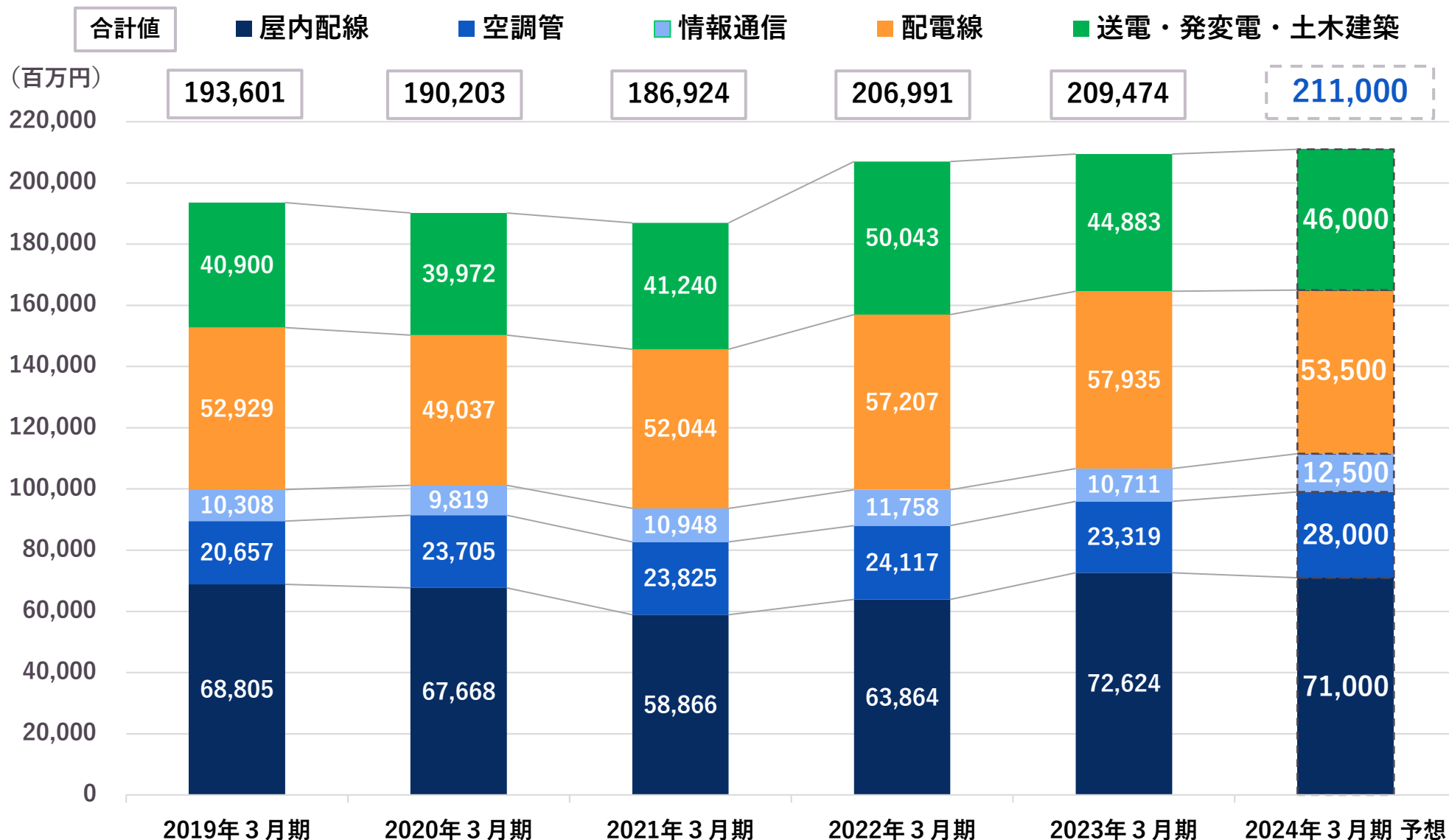


(3) 業績の推移および予想[個別]



(4) 工事別売上高の推移および予想[個別]

売上高



(5) 工事別受注工事高 予想[個別]

受注工事高

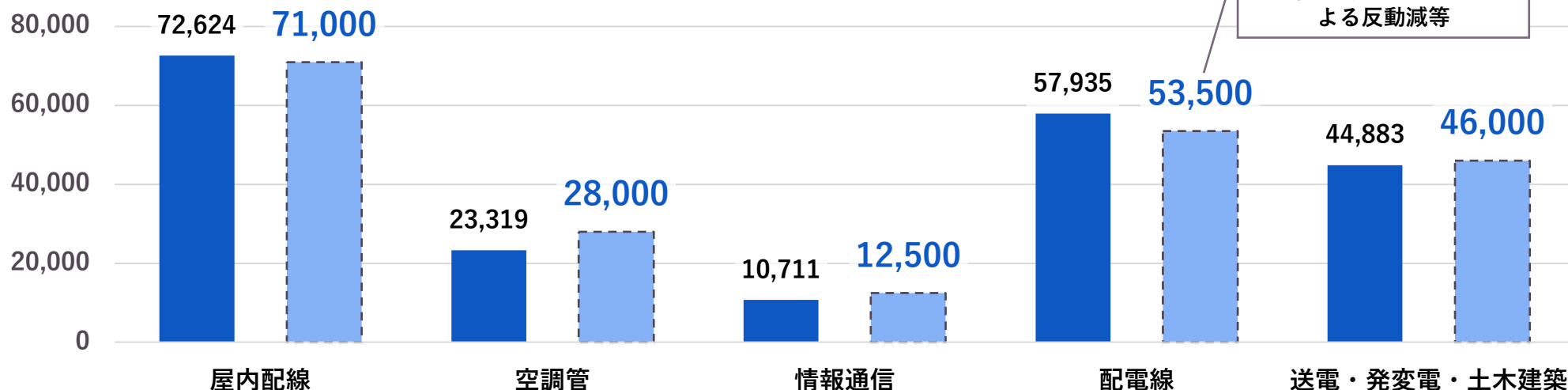


(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率
屋内配線	71,029	73,000	+1,970	+2.8%
空調管	28,879	29,000	+120	+0.4%
情報通信	11,071	13,000	+1,928	+17.4%
配電線	62,561	54,000	△8,561	△13.7%
送電	18,236	15,300	△2,936	△16.1%
発電	13,686	14,100	+413	+3.0%
土木建築	16,133	20,600	+4,466	+27.7%
計	221,599	219,000	△2,599	△1.2%

(6) 工事別売上高 予想[個別]

売上高

(百万円)

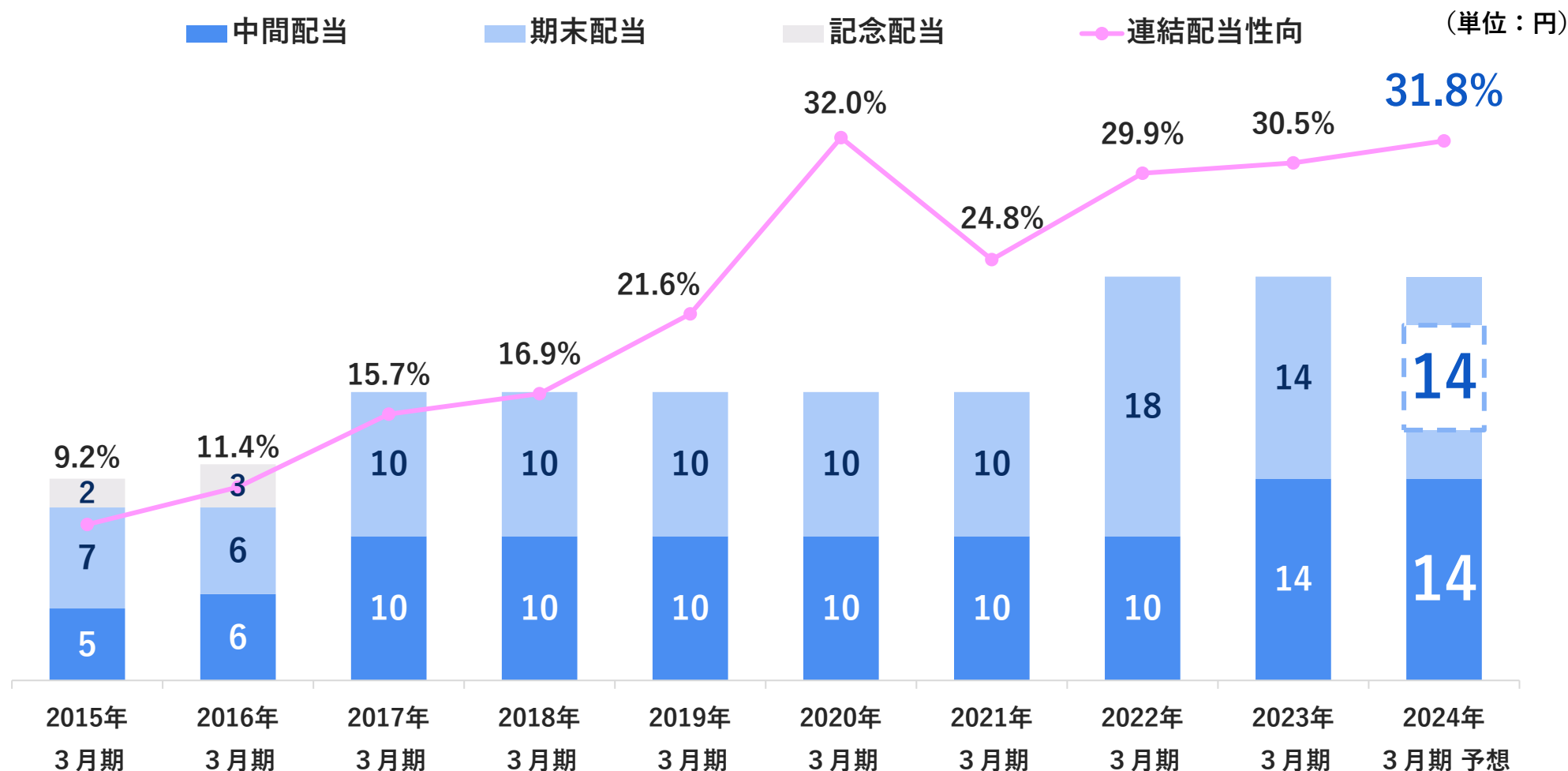


(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率
屋内配線	72,624	71,000	△1,624	△2.2%
空調管	23,319	28,000	+4,680	+20.1%
情報通信	10,711	12,500	+1,788	+16.7%
配電線	57,935	53,500	△4,435	△7.7%
送電	15,095	15,700	+604	+4.0%
発電	12,062	13,000	+937	+7.8%
土木建築	17,725	17,300	△425	△2.4%
計	209,474	211,000	+1,525	+0.7%

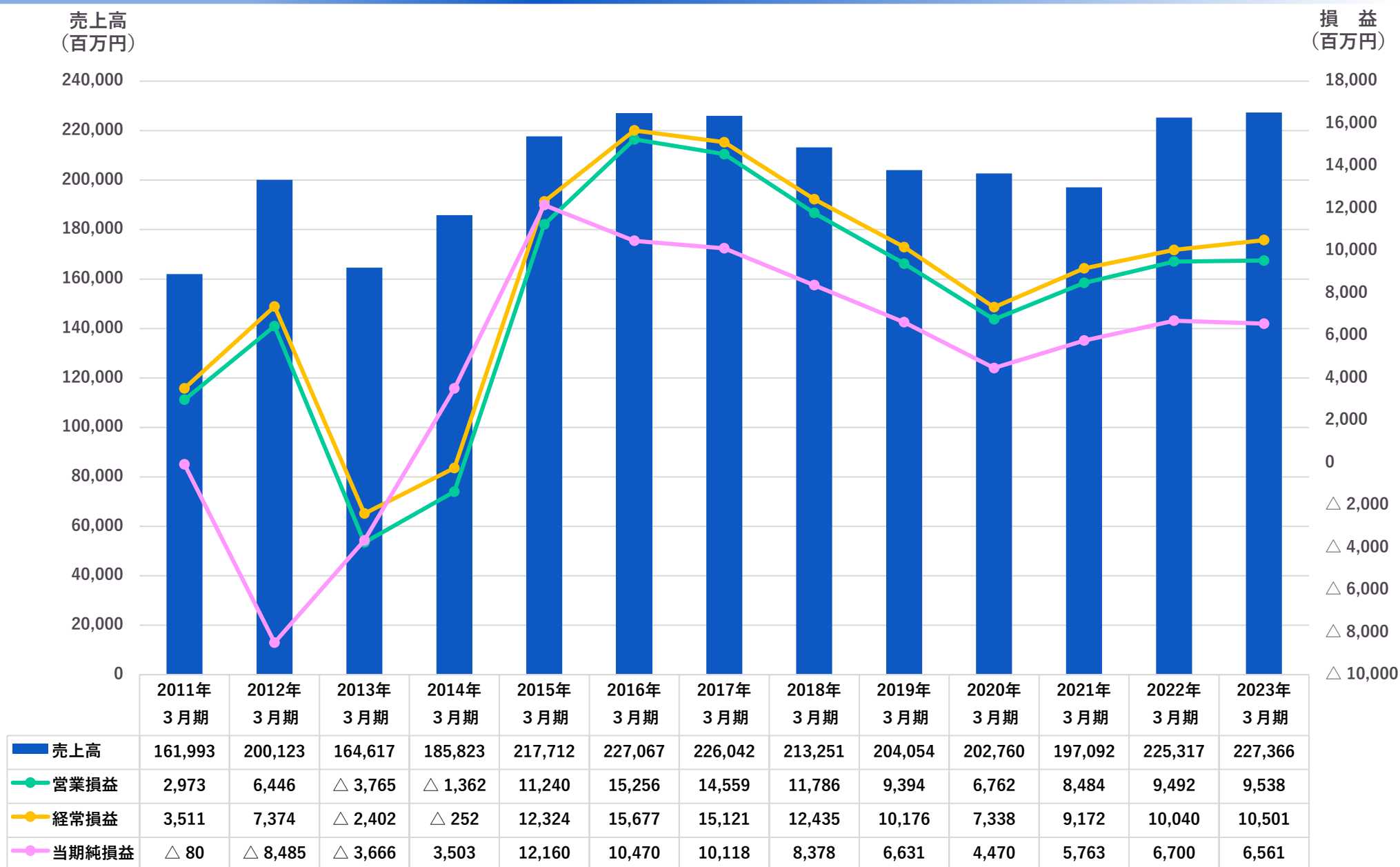
(7) 配当金の推移および予想

配当方針 (2021年12月14日公表)

当社は、株主のみなさまへの利益還元を経営上重要な施策として位置付けております。
将来に向けた事業展開・成長のための内部留保とのバランスを考慮し、業績に応じ**連結配当性向30%**を目安に、
1株当たり年間配当金 24 円を下回らない配当を行うことを基本方針としております。



(参考) 業績の推移[連結]



03 中期経営計画の進捗状況

(1) 2023年度 中期経営計画

2021年度中期経営方針

(2021～2025年度)

能動的な行動と変革への挑戦で新たな時代を築く

～環境変化への適応とスピードある経営の実現～

成長戦略に基づく投資枠

2024年度までに300億円

定量目標 2025年度

[連結] 売上高 2,400億円／営業利益 120億円

2025年度 定量目標の達成

2023年度 中期経営計画に基づく主な施策

成長市場に注力

再エネ

工事の受注拡大

基幹送電網整備

工事の受注拡大

情報通信

工事の受注拡大

3つの基本戦略の推進

関東圏

での収益拡大

海外

事業の強化

リニューアル

営業の強化

事業基盤の構築・競争力の強化

成長戦略に基づく
積極的な投資

D X

の推進による収益拡大

成長を支える
人財の育成

4つの力点

力点1：グループ大での「安全・品質・信頼」の共有と実践

力点2：地域との信頼関係強化と事業環境変化への対応

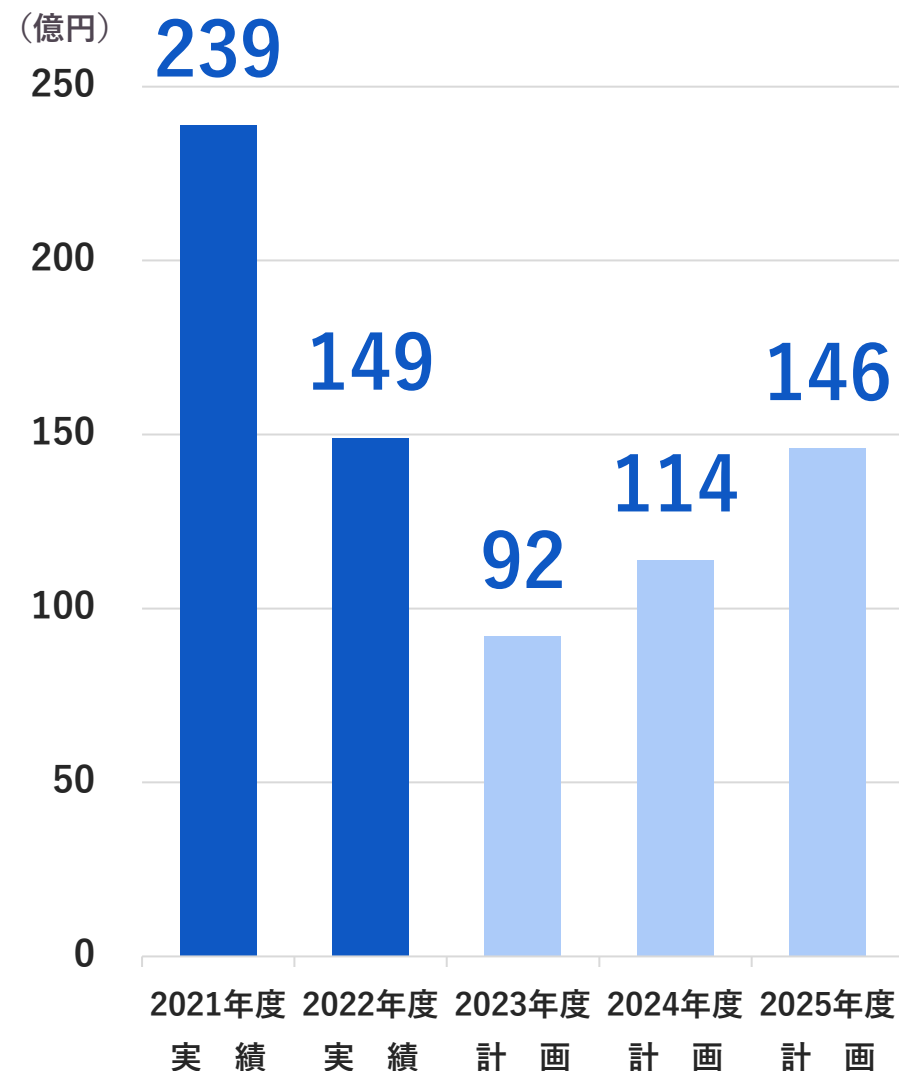
力点3：成長分野への展開加速による企業価値の向上

力点4：成長を支える人財の育成と業務変革の継続

(2) 再生可能エネルギー工事の受注拡大

再エネ工事の個別売上計画

(主な工事：屋内配線・送電・発電電・土木建築)



■ 再エネ関連工事の市場動向

- ⇒ 国策として東北各地で洋上風力を中心に大型風力発電所の建設が計画
- ⇒ 資材費の高騰や円安が原因と思われる事業者の工事遅延、発注延期
- ⇒ 将来案件の調査・設計依頼は依然活発

■ 計画達成に向けた取り組み

- ⇒ 本年7月に再生可能エネルギー事業本部を設置
 - ⇒ 再生可能エネルギー特有の自営線送電ルート調査や基本設計に対応できる要員の拡充・強化
 - ⇒ 有利受注に向けた設計段階からの事業者への協力
- 風 力：「地の利」を生かした受注獲得
太陽光：自家消費型太陽光発電設備の受注確保

再エネ関連工事の施工実績



二本松太陽光発電所 (NRE)
(福島県)



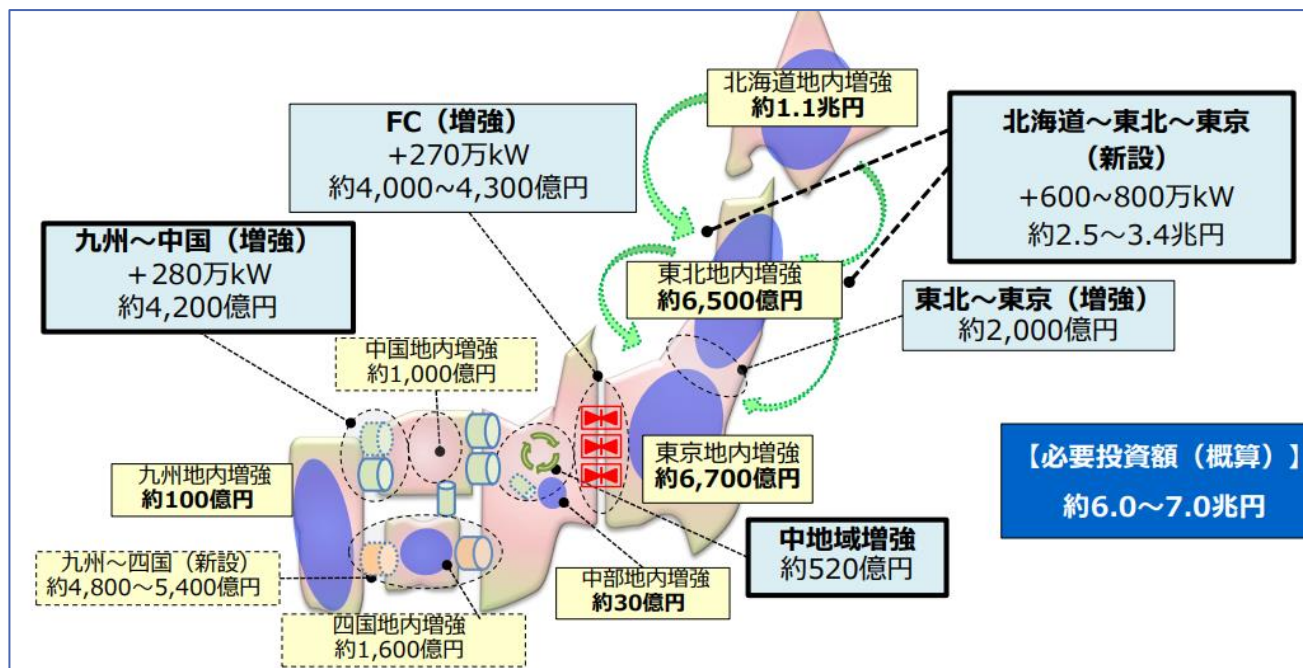
八峰風力発電所
(秋田県)

(3) 基幹送電網整備工事の受注拡大

■ 本格化する基幹送電網の整備工事

- ⇒ 2050年カーボンニュートラルを見据え、国は次世代電力ネットワークに関する「広域連系系統のマスタープラン」を策定
- ⇒ 必要となる投資額は概算で約6兆円から7兆円
(東北地内では約**6,500億円**、東北～東京では約**2,000億円**の投資が必要との試算)
- ⇒ 東北に確固たる事業基盤を持ち、高い技術力を持つ当社にとっては、継続的な受注機会

■ 国が策定している送電網増強案



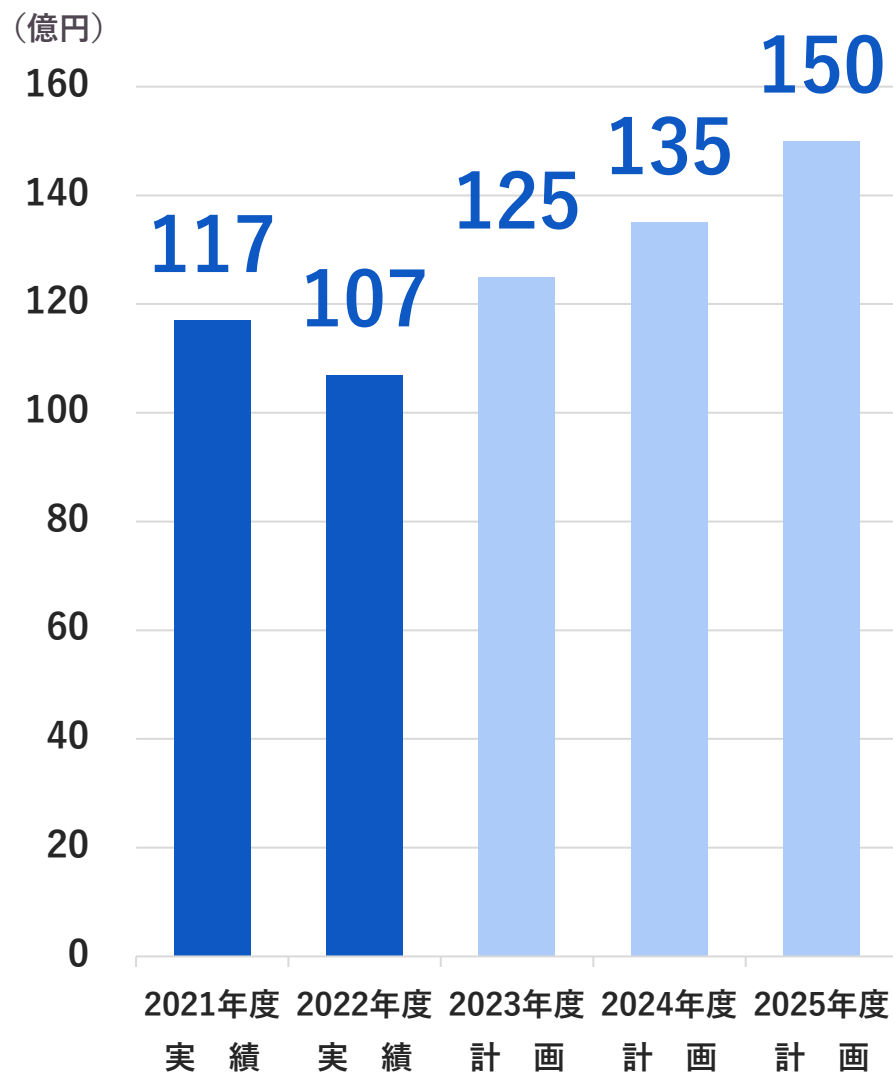
継続的な
受注機会

東北に確固たる
事業基盤

(4) 情報通信工事の受注拡大

情報通信工事の個別売上計画

(主な工事：情報通信)



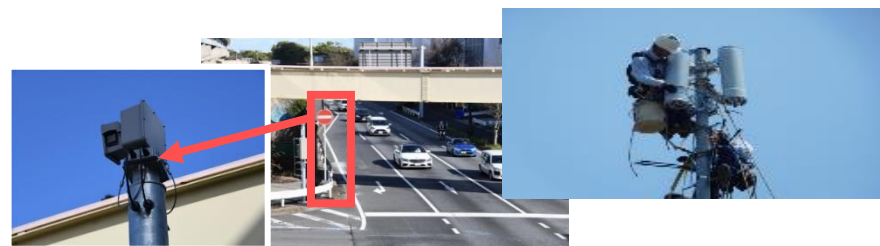
■ 移動体通信工事の市場動向

- ⇒ 国では「Beyond 5 G推進戦略」として、Beyond 5 G (6 G) の推進に取り組む
- ⇒ 基地局の数と密度は膨大になることが示されており、関連市場は今後も継続した成長が期待
- ⇒ 移動体通信事業者の 5 G 基地局建設工事の増加が見込まれる

■ 受注・施工体制の強化

- ⇒ 東京本部に情報通信工事を担う専門部署を設置し、移動体通信工事や官公庁物件などを受注
- ⇒ 移動体通信工事の施工・施工管理を一元管理する「モバイル通信工事センター」設置し、業務効率化
- ⇒ 屋内配線・空調管とあわせた情報通信工事（機器据付・ネットワーク構築含む）の営業展開による受注機会拡大

情報通信工事事例

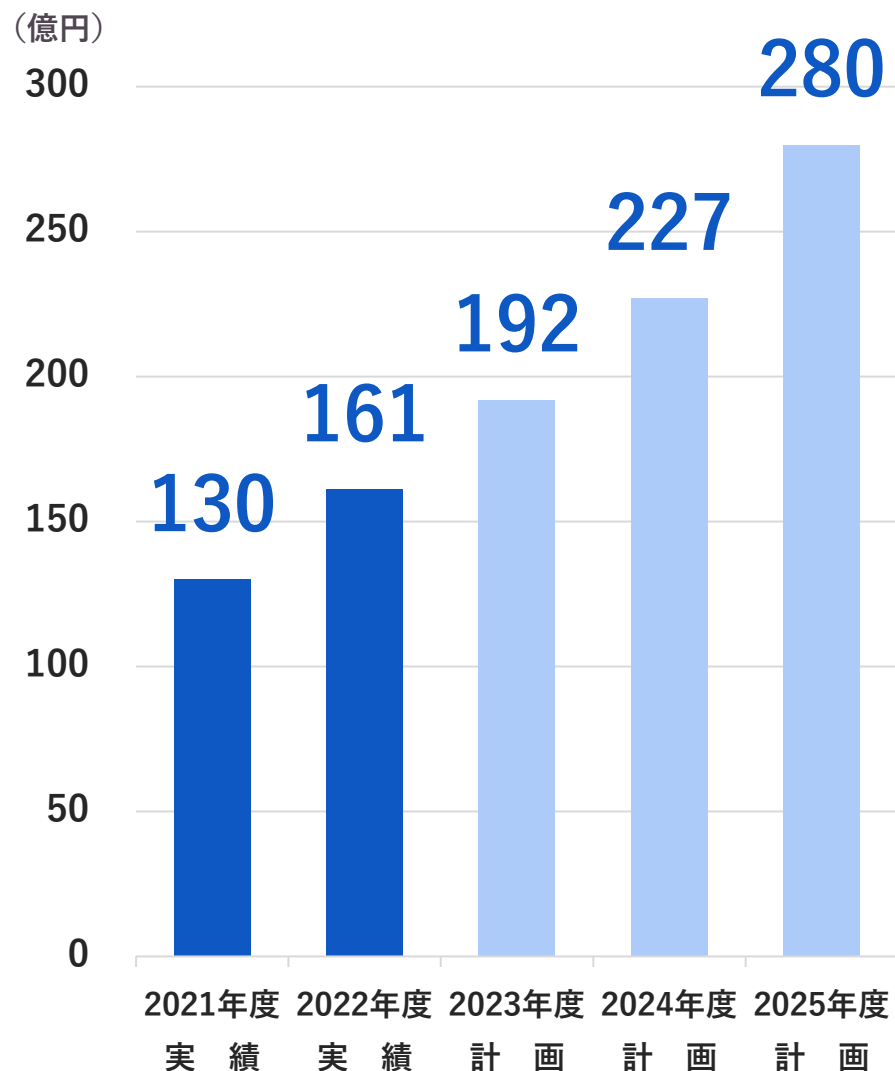


国道 CCTV (監視カメラ) 設置工事 (千葉県)

(5) 関東圏での収益拡大

関東圏の個別売上計画

(主な工事：屋内配線・空調管・情報通信)



■ 営業活動と施工体制を強化

- ⇒ 成長市場に強みを持つお客さまに対する営業強化
- ⇒ 屋内配線・空調管工事の一括受注や建築付帯通信設備工事などの受注拡大に向け施工体制を強化
- ⇒ 施工会社の協力会社化推進や請負会社の拡充など関東圏に拠点を置く企業との協力体制強化

■ 関東圏の旺盛な建設需要による市場ポジションの獲得機会

- ⇒ 首都圏の大型再開発事業やコロナ禍で需要が拡大した大型物流施設が引き続き増加傾向にあるなど当面は堅調に推移する見通し
- ⇒ 売上高拡大に対応するため、全社的な要員数・配置の見直しをはかる

(参考) 関東圏における近年の主な施工実績

屋内配線工事



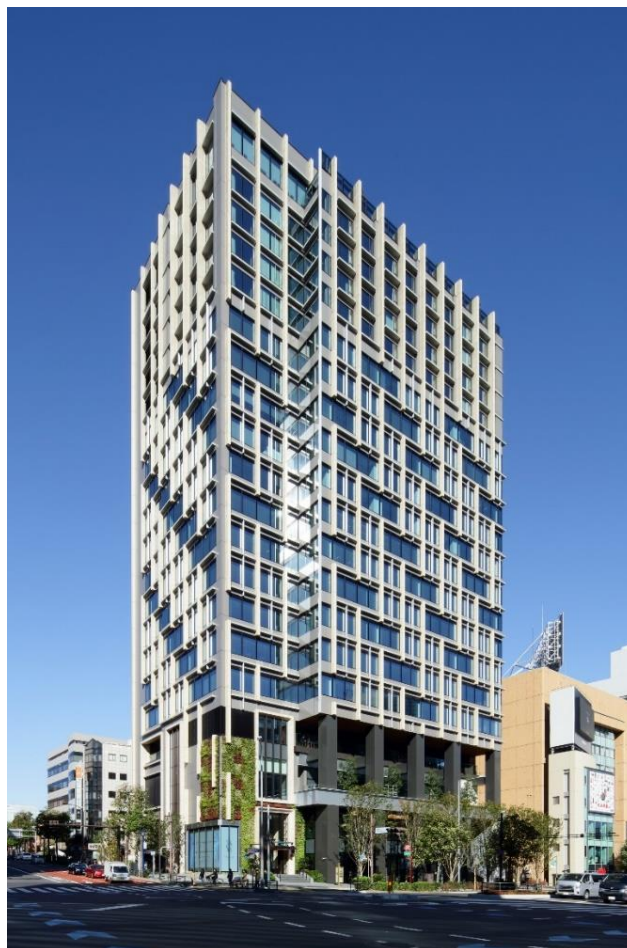
大手町フィナンシャルシティ
グランキューブ（東京都）



屋内配線工事



the ARGYLE aoyama（東京都）



空調管工事



MFLPプロロジスパーク川越（埼玉県）



屋内配線工事



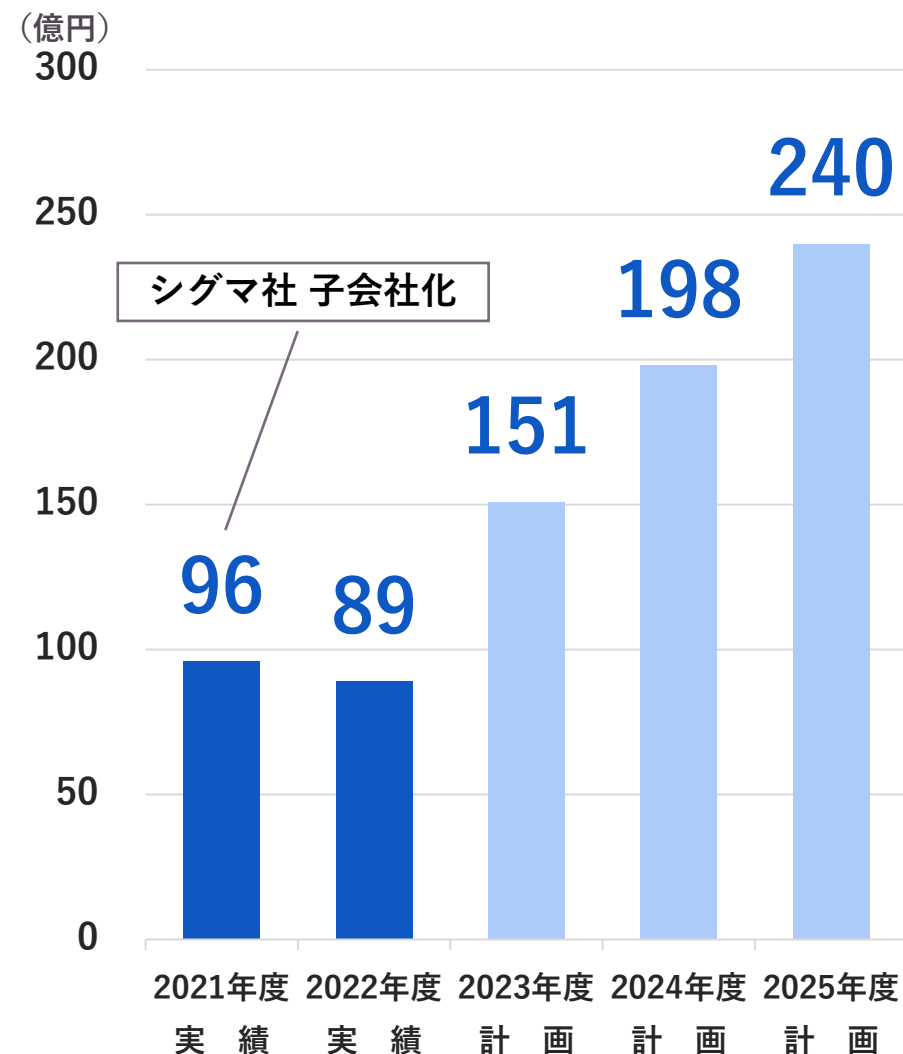
栃木県総合運動公園陸上競技場（栃木県）



(6) 海外事業の強化

海外の個別売上計画

(主な工事：屋内配線・空調管・再エネ関連)



- コロナ禍からの建設需要回復が見込まれるベトナム国

⇒ 連結子会社「SIGMA ENGINEERING JSC (シグマ社)」を中心に、大型ホテルや複合ビル案件の屋内配線・空調管工事および再生可能エネルギー関連工事の受注拡大に取り組む

- 日本国政府によるODA案件

⇒ 送配電網整備工事など社会インフラ整備事業を通じた東南アジア・アフリカなどへのODA案件の受注拡大に取り組む

- バングラデシュ国での施工体制構築

⇒ 初の日系工業団地開所に伴い、インフラ施設の建設および民間投資の増加が見込まれる同国において早期の施工体制構築を目指す



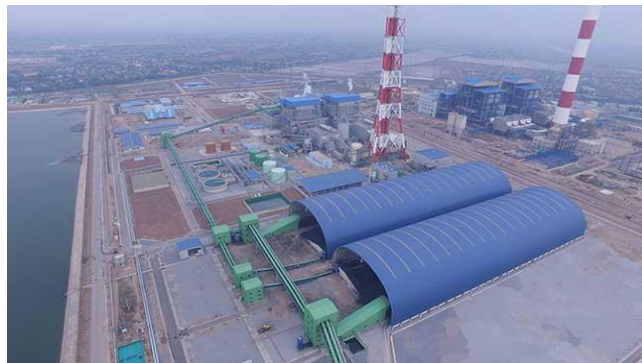
セネガル国におけるODA案件の様子

ユアテックベトナム施工

ホテル・ニッコー・ハイフォン
ロイジェント・パークス・ハイフォン
(ベトナム ハイフォン市)



タイビン火力発電所
(ベトナム タイビン省)



ノイバイ国際空港第2ターミナル (ベトナム
ハノイ市)



シグマ社施工

ソクチャン7洋上風力発電所
(ベトナム ソクチャン省)



ミカヅキスパ&ホテルリゾート
(ベトナム ダナン市)



MIPECスポーツセンター
(ベトナム ハノイ市)

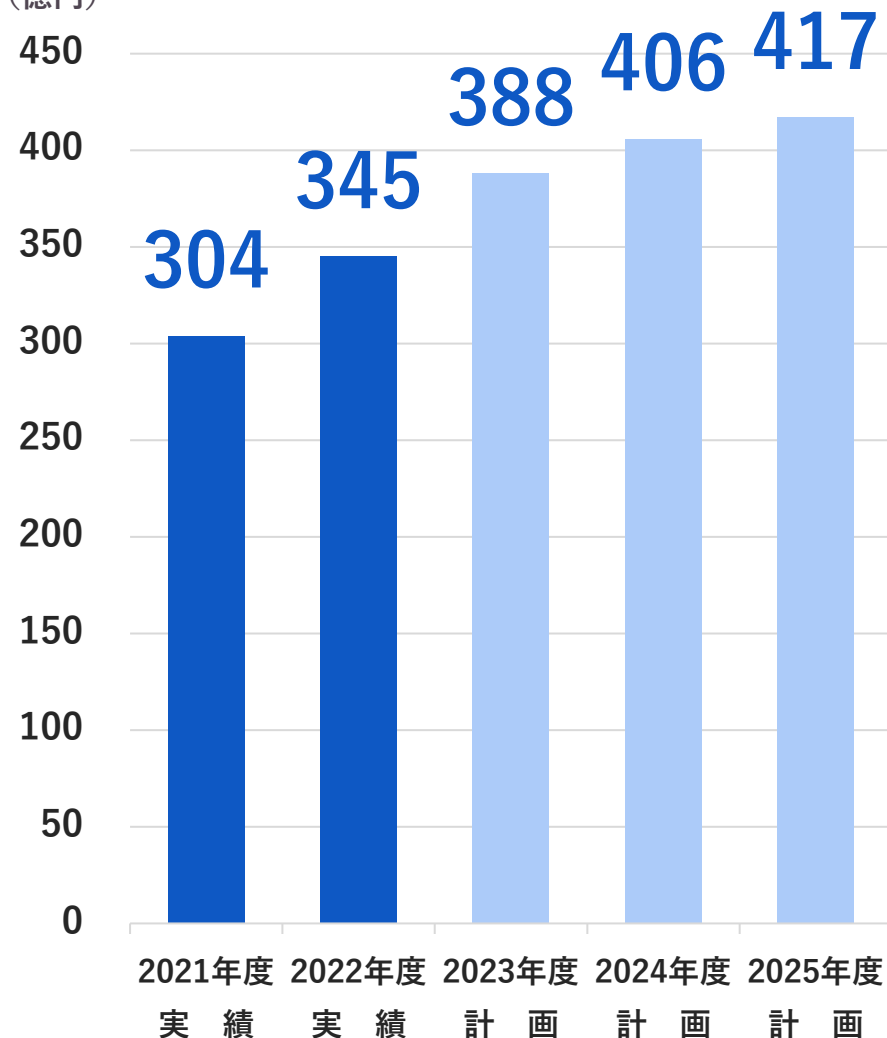


(7) リニューアル営業の強化

リニューアル工事の個別売上計画

(主な工事：屋内配線・空調管)

(億円)



- 過去の工事実績を踏まえた積極的な提案活動と受注拡大
 - ⇒ 東北エリアの人口減少に伴い、将来的に見込まれる新築物件の減少
 - ⇒ リニューアル営業の強化により受注拡大を目指す
- カーボンニュートラルへの社会的要請による省エネ・ZEB※市場の拡大※ ネット・ゼロ・エネルギー・ビルの略称
 - ⇒ 気候変動問題に対する世界的な関心の高まり、これを受けた企業のカーボンニュートラルに向けた取り組み
 - ⇒ 2022年「ZEBプランナー制度」、
「ZEBリーディング・オーナー制度」登録
 - ⇒ 自社事業所へのZEB導入で得た知見をもとにお客さまへの省エネ・ZEB化推進の提案

本年5月に新築移転した当社大船渡営業所が「ZEB Ready※」を取得

※再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物

自社への導入事例



大船渡営業所 外観

(8) 成長戦略に基づく積極的な投資

- 既存事業の強化に向けた投資を最優先に進めつつ、新たな領域の開拓等も視野に入れ、ユアテック企業グループとして事業拡大をはかる
- ⇒ ベトナム国においては、2021年に完全子会社したシグマ社を中心に、複合ビルなどの大型物件が順調に進捗し、当期2Qでは前年同期を上回る実績
- ⇒ 引き続き、M&Aによる投資枠の活用を中心に、資本業務提携や事業・プロジェクトへの出資参画などを幅広く検討



完全子会社化

企業価値向上

【既存事業の強化】

- 東北と新潟を軸とした屋内配線・空調リニューアル工事の受注拡大
- 関東圏、海外市場、再エネ工事の受注拡大等

【新たな領域の開拓】

- 東北電力グループとの連携によるスマート社会実現事業への協働参画
- 情報通信の建築付帯設備工事受注等

成長戦略に基づく投資枠 2024年度までに **300** 億円

(9) DXの推進による収益拡大

■ 社長を委員長とするDX推進委員会およびIT戦略に係る専門組織の設置

- ⇒ ツールやシステム導入による業務削減時間の想定
2025年度で約248,000時間の削減、人件費への単純換算で約11億1,000万円の削減効果
- ⇒ 生成AIの導入による現場負担の軽減について検討
- ⇒ 社内システムのタブレット・スマホ対応と利用可能アプリの拡充
- ⇒ 紙削減枚数の試算
2022年5月の調査枚数を基準とし、2025年度末で64.2%の削減率

当社のDigital Transformation

具体的な施策

A.業務プロセスの最適化を前提とした
ペーパーレス化

B.タブレット/スマホ利用拡大

C.最新デジタル技術の活用

A～C 共通

- 1.現場書類のデジタル化
- 2.経理関連業務のデジタル化
- 3.竣工保管書類のデジタル化
- 4.決定・報告業務の簡素化
- 5.契約業務のデジタル化
- 6.社内システムのタブレット/
スマホ対応・利用可能アプリの拡充
- 7.セキュリティ制限の見直しによる
利便性向上
- 8.AIを含むデータ活用
- 9.最新デジタル技術の活用による
現場業務の効率化
- 10.従業員の意識改革



在宅勤務、フリーアドレスなど
働き方を選択可能に



現場、出張先からシステム操作



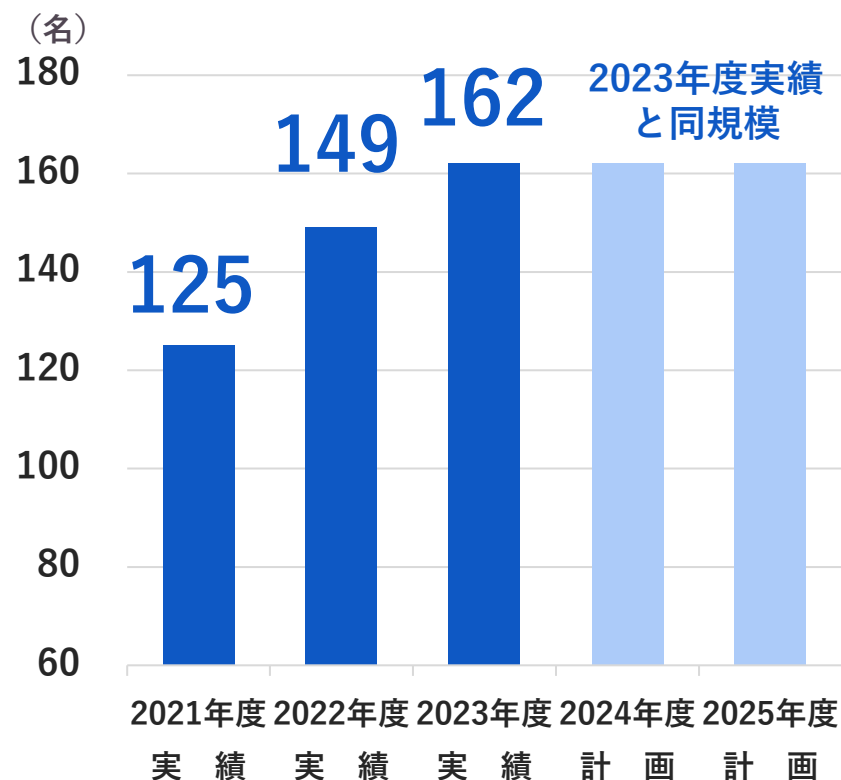
遠隔からの現場支援

(10) 成長を支える人財の育成

■ ユアテックの財産は人財

- ⇒ 新たな人財戦略の検討、立案を行う組織として「人財戦略プロジェクト」を設置
- ⇒ 定期・経験者採用、再雇用制度のあり方、評価制度や報酬の面なども含めた人事諸制度全般にわたる検討
- ⇒ 2024年問題（建設業への時間外労働の上限規制適用）や施工力不足に対応する各施策へ反映し、中長期的な成長を支える人財を確保

定期採用計画



2021～2025年度の5年間における増員計画

技術系要員

屋内配線 87 名増

空調管 49 名増

情報通信 36 名増

送電 9 名増

発電 11 名増

土木建築 16 名増

再エネ 5 名増

注力事業・成長市場

屋内配線・空調管
工事の一括受注

5G関連工事
建築付帯情報通信工事

再エネ工事
送電網増強工事

(11) サステナビリティへの取り組み

■ 東北電力グループサステナビリティ方針に基づき、環境への配慮、安全の確保、企業倫理・法令遵守など、ESG経営、サステナビリティを推進

⇒ 中期経営方針に基づく各種施策を通じて、SDGsの達成に貢献



⇒ 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言へ賛同、情報開示を実施



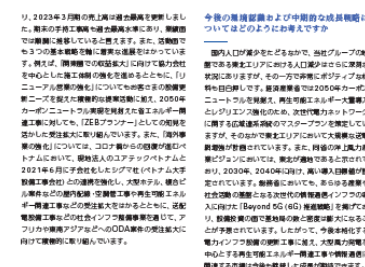
⇒ サステナビリティに関わる方針、重要課題、PDCAにかかる審議などを行う「サステナビリティ委員会」を10/1に設置し、サステナビリティへの取り組みを積極的に推進

東北電力グループサステナビリティ重要課題		ユアテックグループの主な取り組み	関連するSDGs
E 環境	カーボンニュートラルへの挑戦	■再生可能エネルギー関連工事 ■環境配慮型設備の提案 ■事業所新築時におけるZEB化の推進 ■社有車の順次EV化の推進	
	循環型社会の形成	■環境方針に基づいた環境負荷低減に向けた事業活動の展開 ■伐採木のチップ加工による再生利用 ■清涼飲料水の製造・販売・宅配事業におけるウォーターボトル・ボトルキャップおよびウォーターサーバーのリサイクル	
S 社会	快適・安全・安心な暮らしと地域社会の実現	■地域における社会課題の解決や地域活性化への貢献等の「よりそう」取り組み 【主な活動】非常災害対策用備蓄飲料水のフードバンクへの寄贈 公衆街路灯の寄贈や高所作業車を活用した信号機の清掃活動 ■海外インフラODA案件の積極的な取り組み	
	レジリエントな社会インフラの構築	■設備工事を通じた電力の安定供給、災害対応力の強化への寄与	
	多様な人財がイキイキと働く職場作り	■ダイバーシティの推進(女性活躍、障害者雇用、男性の出生時育児休暇等、育児に関する休暇取得) ■生活習慣病予防対策を始めとした健康経営の推進 ■効率化・生産性向上に向けた抜本的な業務見直しとDXの推進	
	様々なステークホルダーの人権尊重	■差別・ハラスメントの防止 ■グループ一体となった労働安全確保に向けた安全文化のさらなる向上	
G ガバナンス	健全で透明性のある企業経営	■企業倫理・法令遵守の徹底 ■「コーポレートガバナンス基本方針」に基づくガバナンス体制の充実強化	

04 ご参考

Yurtec

統合報告書 | IR情報 | ユアテック 東北電力グループ (yurtec.co.jp)



(2) ユアテック企業グループ

連結子会社 計16社

得意先

当社

工事施工

設備工事業

株式会社ユートス

株式会社ユアテックサービス

株式会社ユアテック宮城サービス

株式会社テクス福島

株式会社ユアテック配電テクノ

株式会社ユアテック関東サービス

空調企業株式会社

YURTEC VIETNAM CO.,LTD.

SIGMA ENGINEERING JSC

電気事業

株式会社ユアソーラー富谷

株式会社ユアソーラー保原

株式会社ユアソーラー蔵王

工事用機械・車両等のリース

リース事業

株式会社ニューリース

廃棄物処理

廃棄物処理業

グリーンリサイクル株式会社

警備・不動産管理

警備業・不動産業

株式会社トークス

電力の販売

製造業

株式会社アクアクララ東北

ミネラルウォーターの製造・販売

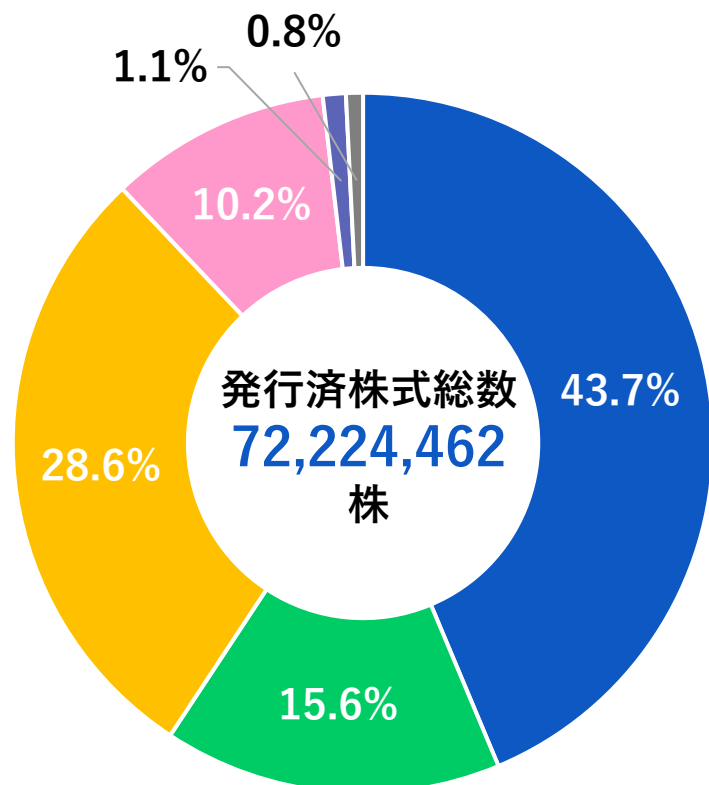
(3) 成長戦略に基づく投資枠によるM&A

(開示時データ)		 空調企業株式会社
商 号	SIGMA ENGINEERING JSC (シグマ社)	空調企業株式会社
所在地	ベトナム国ハノイ市	宮城県仙台市
会社設立	2005年1月	1975年8月
資本金	160,000百万ベトナムドン	40百万円
従業員数	867名	38名
事業内容	電気設備工事、空気調和設備工事、給排水衛生設備工事、消防設備 等	冷暖房設備工事および関連設備メンテナンス、空調機器類の販売 等
売上高	2019年12月期 1,860,000百万ベトナムドン (約8,460百万円)	2019年7月期 1,040百万円
持株比率 (連結)	100% (2021年6月子会社化)	100% (2020年9月子会社化)
株式取得の目的	■ ベトナム国内の成長市場を取り込む ■ YURTEC VIETNAM CO.,LTD.との相乗効果により受注機会の拡大およびオペレーションの効率化	■ 施工体制の強化 ■ 営業面で相乗効果

(4) 株式の状況

(2023年9月末現在)

所有者別株式比率



- 国内法人
- 個人・団体
- 金融商品取引業者
- 金融機関
- 外国法人等
- その他

(注) 自己株式は、「その他」に含めております。

大株主

所有株式数

持株比率

1	東北電力株式会社	29,915,066 株	41.75 %
2	ユアテック従業員持株会	5,775,443 株	8.06 %
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,281,400 株	7.37 %
4	株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,736,500 株	2.42 %
5	日本生命保険相互会社	1,381,470 株	1.93 %
6	DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,000,000 株	1.40 %
7	株式会社七十七銀行	942,000 株	1.31 %
8	明治安田生命保険相互会社	459,223 株	0.64 %
9	JP MORGAN CHASE BANK 385781	326,550 株	0.46 %
10	光通信株式会社	316,000 株	0.44 %

(注) 持株比率は、発行済株式総数から自己株式 (565,736株) を控除し、計算しております。
また、自己株式は、上記大株主から除外しております。

企業理念

ユアテックは
お客さまの心ゆたかな価値の創造に協力し、
社会の発展に貢献します。



将来の見通しに関するご注意事項

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【当社ホームページ（IR情報）】

<http://www.yurtec.co.jp/ir/>

【本資料に関するお問い合わせ先】

株式会社ユアテック

宮城県仙台市宮城野区榴岡4-1-1

TEL：022-296-2111（代表）

担当：総務部法務室（株式）



仙台市が所有し、プロサッカーチームベガルタ仙台のホームスタジアムとなっているスタジアムのネーミングライツを2006年3月1日に取得し、名称を「ユアテックスタジアム仙台（略称：ユアスタ仙台）」としております。